

8病第1042号
平成18年10月30日

各農業改良普及センター所長様
各農業協同組合長（営農担当者）様
各農業関係機関長・団体長様

京都府病虫害防除所長
（公印省略）

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第3号

病虫害名 プラタナスグンバイ *Corythucha ciliata* (Say)
作物名 プラタナス
発生地域 京都市、向日市、亀岡市

1 発生経過

- 平成18年9月に京都市上京区のプラタナス街路樹において白化症状が見られ、グンバイムシの発生がみられた。
- 本虫を神戸植物防疫所で同定の結果、本府では未確認の「プラタナスグンバイ」であることが確認された。
- 本種は、北米原産で近年ヨーロッパ、韓国などに分布を拡大しており、我が国では平成13年9月に愛知県名古屋市で発生が確認されて以降、東京都、神奈川県、静岡県、愛媛県、福岡県、新潟県、広島県で確認されている。
- 10月上旬に、府内のプラタナス街路樹を調査した結果、京都市左京区、中京区、下京区、南区、右京区、伏見区、向日市及び亀岡市で成幼虫の寄生が確認され、白化～黄白化した被害葉が多数確認された（表1）。
また、街路樹のように連続して植栽されていない公園等のプラタナスにも、成幼虫の寄生が確認された（表2）。

2 形態（図1）

- 成虫の体長は雌で3.7mm内外、雄で3.5mm内外で、全体的に乳白色で前翅のやや前方の中央よりに明瞭な黒褐色紋を有する。
- 終齢幼虫は黄褐色で頭部全体、前胸背の一部、翅芽の基部および腹部中央は暗色を呈する。頭部背面、体側部及び腹部背面中央に、太くて鋭い棘状の突起を有する。

3 生態

- 国内では1年間に3世代繰り返し、越冬はプラタナス樹皮下で成虫でするとされている。

(2) 我が国ではプラタナス類のみで発生が知られているが、海外ではクルミ科、ブナ科、クワ科の広範な樹木に寄生するとされている。

4 被害(図2)

成虫・幼虫とも葉裏に寄生し、吸汁により葉の表面に脱色斑が現れ、寄生が多い場合は、葉が白化～黄白化する。特に葉脚部(葉の基部)の葉脈に沿った部分での白化が多く見られる。また、葉裏は黒い粘液状の排泄物により汚れる。寄生が著しいと樹全体が白化し美観が著しく損なわれる。

5 防除対策

樹木類(木本植物)のゲンバウムシ類に対してMEP乳剤(スミチオン乳剤)(1000倍)の登録がある。

また、京都府農業総合研究所環境部と病害虫防除所による各種薬剤の殺成虫効果試験では、MEP乳剤(スミチオン乳剤)の他、DDVP乳剤(DDVP乳剤50、デスなど)、アセフェート水和剤(オルトラン水和剤)、ベンフラカルブマイクロカプセル剤(オンコルマイクロカプセル剤)、エトフェンプロックス乳剤(トレボン乳剤)、ペルメトリン乳剤(アディオオン乳剤)、クロチアニジン水溶剤(ダントツ水溶剤)、ピリミホスメチル乳剤(アクテリック乳剤)の効果が高かった。

なお、この試験は薬剤への感受性を確認するための試験であり、農業使用時は作物への登録内容を確認すること。

6 その他

海外ではクワ科への寄生が記録されていることから、城陽市のイチジクほ場、福知山市の桑ほ場の現地調査を実施したが、寄生は確認されなかった。

しかし、農業総合研究所環境部において簡易的な接種試験を行った結果、プラタナスの他にイチジク及びキンモクセイにおいて寄生が認められた。

7 参考資料

時広五朗・田中健治・近藤圭(2003) 我が国におけるプラタナスゲンバイ(新称)
Corythucha ciliata(Say)の発生. 植物防疫所調査研究報告 **39**: 85-87

表1 プラタナス街路樹被害程度

	通り名	区、市町	調査箇所数	被害葉の段階					被害程度
				A	B	C	D	E	
京都市域	今出川通（北白川付近）	左京区	1		2	5	3		47.5
	二条通（川端通東側）	左京区	1	3	3	1	3		65.0
	四条通（西院～七本松）	中京区	1	19	1				98.8
	七条通（西大路～七本松）	下京区	1	10					100.0
	八条通（京都駅南口～油小路）	南区	2	2	3	4	11		45.0
	十条通（油小路～国道十条）	南区	1	7	2	1			90.0
	東山通（元田中付近）	左京区	1	3	1	1	5		55.0
	烏丸通（新花屋町～四条）	下京区	3	9	2	7	3	9	49.2
	烏丸通（四条～丸太町）	中京区	3	9	4	10	10		59.1
	七本松通（七条～高辻）	下京区、中京区	3	30					100.0
	大宮通（八条～七条）	南区	1	5	4	1			85.0
	西大路通（十条～八条）	南区、下京区	2	18	2				97.5
	西大路通（八条～五条）	下京区、右京区	3	22	6	2			91.7
	西大路通（五条～三条）	右京区	3	18	9	3			87.5
	西大路通（三条～丸太町）	中京区	2	11	7	2			86.3
	葛野大路高辻付近	右京区	1	5	5				87.5
	深草名神高架沿い	伏見区	1		2	2	6		40.0
	24号線（観月橋～桃山中学）	伏見区	2	2	1	0	16	1	33.8
	外環状線（横大路～羽束師橋）	伏見区	1	3	5	2			77.5
	京都市域外	外環状線（上植野～一文橋）	向日市	1		1	3	0	6
京田辺市（大住健康ヶ岡付近）		京田辺市	1					10	0.0
府道八幡木津線（山田川付近）		精華町	1					10	0.0
9号線（長田野工業団地付近）		福知山市	1					10	0.0
福知山市（内記、厚中間屋）		福知山市	2					20	0.0
亀岡市（つつじヶ丘）		亀岡市		既に茎葉が剪定されていたが、残葉で成幼虫を確認した。					

（1地点任意の10本程度を目視調査）

表2 公園等のプラタナスの被害程度

公園名等	地点	植栽本数	被害葉の段階					被害程度
			A	B	C	D	E	
深泥池北側付近	京都市北区	2				2		25.0
紫明通新町付近	京都市北区	1				1		25.0
紫明通衣棚付近	京都市北区	1	1					100.0
堀川中立売付近	京都市上京区	1					1	0.0
地蔵本公園	京都市左京区	2				1	1	12.5
閉川原公園	京都市左京区	1					1	0.0
中京中学	京都市中京区	2	1		1			75.0
朱雀公園	京都市中京区	2		2				75.0
中堂寺公園	京都市下京区	4	2	2				87.5
石ヶ坪公園	京都市下京区	5	2	3				85.0
名倉公園	京都市下京区・右京区	1				1		25.0
植物公園駐車場	宇治市	5					5	0.0

被害葉の段階（目視による判定）

- A：樹の76～100%が被害葉
- B：樹の51～75%が被害葉
- C：樹の26～50%が被害葉
- D：樹の1～25%が被害葉
- E：被害葉無し

$$\text{被害程度} = \frac{(NA \times 4 + NB \times 3 + NC \times 2 + ND + NE \times 0)}{(NA + NB + NC + ND + NE) \times 4} \times 100$$



図1 プラタナスグンバイの成虫（左）と幼虫（右）



図2 プラタナスグンバイによって被害を受けたプラタナスの樹と葉